

市町村名	豊見城市
------	------

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-② 文化観光創出事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア
担当部課名	経済建設部 振興開発課	事業実施(予定)年度	平成24~28年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	文化産業の戦略的な創出・育成 Ⅲ-1-(1)

事業内容
 史跡や貴重な自然環境を有する豊見城城址公園とその周辺について、貴重な緑地・都市景観を形成し、憩いや安らぎを提供する観光資源等として活用を図るため、自然環境・歴史文化・観光が調和する、実現可能で具体性のある土地利用構想を策定した。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	9,975				
	(c)増減額(b-a)	9,975				
	(d)前年度繰越額	-				
	A.計(b+d)	9,975	0			
	B.執行済額	8,075				
	うち交付金充当額	6,459				
	次年度繰越額	0				
	執行率(%) (B/A)	81.0%				
	予算の状況の説明	当初予算に計上しなかった為、当初予算額と最終予算額に大きな乖離があるが、計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		豊見城城址公園とその周辺に係る土地利用構想の策定	目標 (土地利用構想の策定)	()	()	()
	実績	土地利用構想の策定				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 豊見城城址公園及びその周辺について、市・県・国の上位・関連計画等の位置づけを確認し、地域特性に関する情報を収集した。 グスクや真珠道等の文化観光資源について、文献・史料の整理を行い、有識者等のヒアリングを実施した。 近隣自治会や県内観光部局等に対しヒアリングを実施した。 地理特性等から将来像、導入機能について検討した。また、グスクの文化財指定や整備の可能性等について検討した。 <p>○これらを取りまとめた本地域の土地利用の方向性を検討し、土地利用構想を作成した。</p>					

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
		豊見城城址公園とその周辺に係る土地利用構想の策定	目標 (無)	(構想の策定)	()	()
		実績		構想の策定		
	【参考指標】	目標 (無)	()	()	()	()
	実績					
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 豊見城城址公園及びその周辺について、市・県・国の上位・関連計画等の位置づけを確認し、地域特性に関する情報を収集した。 グスクや真珠道等の文化観光資源について、文献・史料の整理を行い、有識者等のヒアリングを実施した。 近隣自治会や県内観光部局等に対しヒアリングを実施した。 地理特性等から将来像、導入機能について検討した。また、グスクの文化財指定や整備の可能性等について検討した。 <p>→これらを取りまとめた本地域の土地利用の方向性を検討し、土地利用構想を作成した。今後は、沖縄県による空手道会館(仮称)の建設が進むことから、沖縄県と調整しながら土地利用計画の策定を目指す。</p>					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(ア)事業を推進する上で明らかになった課題や懸念される問題点、社会情勢や住民ニーズなど外部環境の変化への対応の必要性等 →本事業用地が民有地のため、用地確保に向けた地権者との合意形成が重要である。また、鳥獣保護区に隣接するため、自然環境に配慮した土地利用を心がけるほか、埋蔵文化財に対しても適切な対応を取る必要がある。また、公的利用を維持する収益事業について検討する必要がある。	実現に向けた方策を検討するにあたり、 (1)整備手法の検討(公設か民設か) (2)補助事業メニューの検討(公設の場合) (3)グスクの保全・整備手法の検討 (4)用地取得の検討 (5)管理運営の展望 (6)事業スケジュールの検討 などについて、今後さらに検討して行く必要がある。
	(イ)課題解決に向けて協働して取り組む主体の活動状況や留意点 →沖縄県が整備を進める空手道会館(仮称)の開業が平成27年度予定となっているため、県担当部署との密な調整が求められる。またグスクの復元は、歴史遺産として保全するだけでなく、市民や観光客との交流の場など地域づくりに貢献できる存在となるよう、最適な事業手法を検討する必要がある。	
今後の取り組み方針		
平成25年度の取組内容:土地利用構想をもとに土地利用基本計画を策定する。 →外部識者等を交えた委員会を立ち上げ、実現可能で具体性のある計画の策定を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	8,075	8,075	6,459	1,616	0
<pre> graph LR A[豊見城市 8,075千円] --> B[委託料 8,075千円] B --> C[株式会社国建 8,075千円] subgraph D [] C end style D fill:none,stroke:none </pre>					

資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		豊見城市				
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	1-③ 西海岸活性化構想事業		沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ウ	
	担当部課名	経済建設部 振興開発課	事業実施(予定)年度	平成24~28年度	沖繩振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)
事業内容	本市の西海岸地域の地理的特性を活かし、臨空産業や観光関連施設などの誘致、開発計画、周辺アクセス道路整備などの総合的検討を行い、沖縄観光振興の増進を図るため、基本構想の策定を行った。					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(a) 当初予算額	0			
	(b) 予算現額	14,280				
	(c) 増減額 (b-a)	14,280				
	(d) 前年度繰越額	-				
	A. 計 (b+d)	14,280	0			
	B. 執行済額	14,280				
	うち交付金充当額	11,424				
	次年度繰越額	0				
	執行率(%) (B/A)	100.0%				
予算の状況の説明	当初予算に計上しなかった為、当初予算額と最終予算額に大きな乖離があるが、計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
		24年度	25年度	26年度	27年度	
	西海岸地区整備基本構想の策定	目標	(基本構想の策定)	()	()	()
		実績	基本構想の策定			
達成状況説明	・西海岸地区の基礎情報の整理を実施した。 ・西海岸地区のあり方(将来像)の検討を実施した。 ・西海岸地区における整備構想を検討した。 →これらを取りまとめて本市西海岸地区全体の土地利用を含めた、実現に向けた総合的な整備計画(構想)を策定した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
		目標	(無)	(構想の策定)	()	()
	実績		構想の策定			
	【参考指標】	目標	(無)	()	()	()
実績						
進捗状況説明	・西海岸地区の基礎情報の整理を実施した。 ・西海岸地区のあり方(将来像)の検討を実施した。 ・西海岸地区における整備構想を検討した。 →これらを取りまとめて、本市西海岸地区全体の土地利用を含めた、実現に向けた総合的な構想を策定した。今後は、構想を元に整備に向けた取組みを進める。					

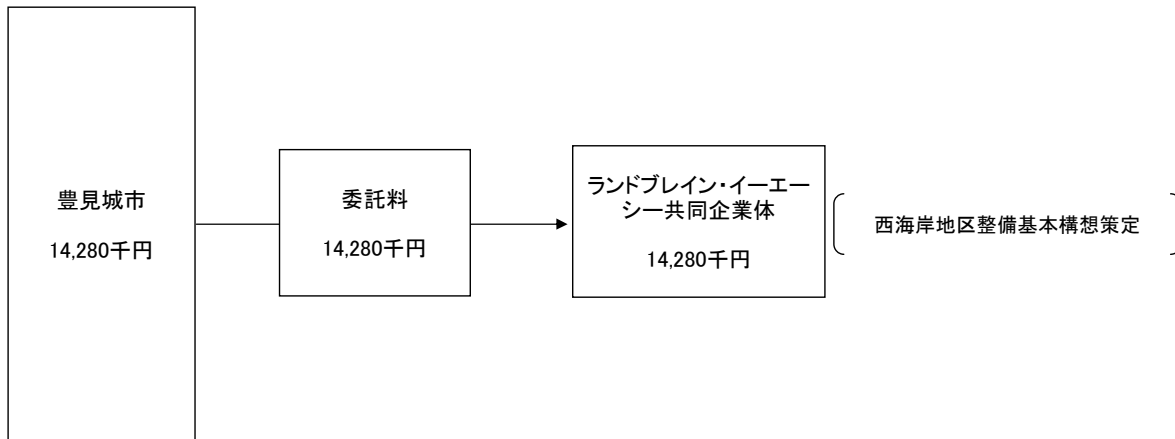
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(ア)事業を推進する上で明らかになった課題や懸念される問題点、社会情勢や住民ニーズなど外部環境の変化への対応の必要性等 →住宅や店舗、工場等の用途が混在した土地利用の状況が拡大している。また、都市基盤の整備が十分でないほか、主要幹線道路の迂回路として集落内に通過交通が進入している。また、那覇空港に隣接する地理的特性から、物流拠点としてのニーズが高まることが想定される。	西海岸地区のあり方(将来像)を6つのゾーンに分け、それぞれの土地利用方針をまとめた。 →今後さらにゾーン毎に考察・検討して行く必要がある。
	(イ)課題解決に向けて協働して取り組む主体の活動状況や留意点 →空港近接性を活かした新たな企業立地を進めるためにも、企業の意向を踏まえながら地権者・企業・市の協働により具体的な検討を行う必要がある。	

今後の取り組み方針

西海岸全体を各ゾーン毎に分けた基本計画の策定や駐車場の確保に向けた検討(公共・公益駐車場、パークアンドライド等)を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
14,280	14,280	11,424	2,856	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④ 西海岸観光地域利用促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	経済建設部 都市施設課	事業実施(予定)年度	平成24~28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	質の高いリゾート地を形成し利用促進するため、観光振興地域のビーチ(砂浜)において、マリンスポーツの快適な実施に必要な砂浜の清掃機器の購入及び海洋危険物防止ネットを設置し利用客の安全性の確保に努めるとともに倉庫等の施設整備を行い、購入した備品等の適正管理を実施した。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	0					
	(b) 予算現額	47,278					
	(c) 増減額 (b-a)	47,278					
	(d) 前年度繰越額	-					
	A. 計 (b+d)	47,278	0				
	B. 執行済額	47,276					
	うち交付金充当額	37,821					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	当初予算に計上しなかった為、当初予算額と最終予算額に大きな乖離があるが、計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	清掃機器及び整備機器等備品購入 (クリーナー等車両、ハブクラゲネット他)	目標	(5件)	()	()	()	
		実績	5件				
	クリーナー等倉庫建設	目標	(1棟)	()	()	()	
		実績	1棟				
達成状況説明	備品 ①乗用草刈機、②自走式草刈機、③ビーチクリーナー、④タイヤショベル、⑤ハブクラゲネット)を購入した。また、備品等を保管する倉庫を建設した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)	
	清掃機器及び整備機器等備品購入 (クリーナー等車両、ハブクラゲネット他)	目標	(0)	(5件)	()	()	(5)
		実績		5件			
	クリーナー等倉庫建設	目標	(0棟)	(1棟)	()	()	(1)
		実績		1棟			
	進捗状況説明	ビーチクリーナー等の購入により、海岸の美観向上また台風襲来時の早期の復旧及び海岸漂着物の迅速な除去が実施できる。ハブクラゲネットの設置によりハブクラゲによる刺症事故の未然防止に努め、利用者及び観光客の安全な環境を確保する。また備品等を塩害及び台風襲来時の格納の為倉庫を建設し、購入した備品等の適正な管理に努める。					

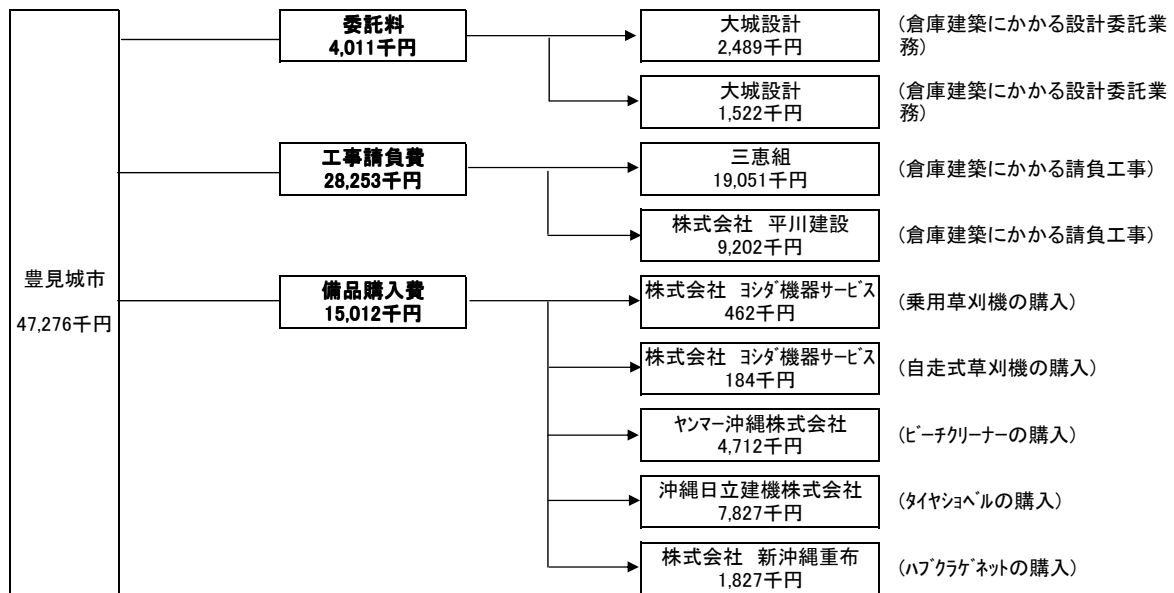
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①購入した備品を活用し定期的に砂浜の整備を行うこととするが、大雨や台風の襲来時には漂着ごみが多く漂着し、清掃頻度について検討しなければならない。 ②備品等の取扱いについても周知徹底する必要がある。	①購入した備品や倉庫の使用頻度を記録し、台風等の影響による漂着ごみ量の季節変化を把握する。 ②取り扱い方法、台風襲来時等の保守管理方法などをマニュアル化する。

今後の取り組み方針

指定管理者に備品取扱責任者等を配置し、取扱い方法の研修等を行い、マニュアルの周知徹底を行う。また、定期的な点検及び消耗品の交換などをこまめに行い、備品等の長寿命化を図る。
 また海岸清掃の実施時期の検討にあたっては、漂着ごみ量の季節変化の他、海岸利用状況等も検討の上、計画的に実施していく。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
47,276	47,276	37,821	9,455	0



資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者は指名入札競争により選定し、額において妥当だと考えている。 ○費目・使途については事業目的の達成の観点から必要なのか等について、現場の状況により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		豊見城市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦	観光情報コンテンツ化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	企画部 商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24~28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成		
事業内容	豊見城市の観光に関する情報発信を強化するため、 ①豊見城市飲食店特産物ガイドブック(マップ付)(くいしんぼBOOK2012-2013)の作成 ②豊見城市観光ガイドブック、飲食店ガイドブック「くいしんぼBOOK2012-2013」の電子書籍化 ③観光情報webサイト(市観光協会HP)の多言語化コンテンツ制作の3件について、市観光協会に補助し事業を行った。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		(a)当初予算額	0				
	(b)予算現額	4,000					
	(c)増減額(b-a)	4,000					
	(d)前年度繰越額	-					
	A.計(b+d)	4,000	0				
	B.執行済額	4,000					
	うち交付金充当額	3,200					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	当初予算に計上しなかった為、当初予算額と最終予算額に大きな乖離があるが、計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 また、上記の事業総額予算としては、5,000千円であるが、団体負担金1,000千円を差し引いた4,000千円を補助し、事業を実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光情報発信等事業への補助件数:3件 ①飲食店特産物ガイドブック(マップ付)作成 ②ガイドブックのデジタルコンテンツ化 ③多言語WEBサイト作成	目標	(3件)	()	()	()	
	実績	3件					
達成状況説明	豊見城市飲食店特産物ガイドブックの配布数 29,313部(配布率53.3%) 電子ガイドブックの閲覧数 H25.4.1~5.10 82人 観光情報のウェブサイト(市観光協会HP)の多言語化コンテンツ制作については、4カ国語(英語・中国語(簡体後・繁体語)・韓国語)で実施した。 またサイトへの外国人訪問者数については、海外からのアクセス数集計より香港13名、台湾10名、アメリカ6名、韓国3名、ニュージーランド1名、マカオ2名、タイ1名、ノルウェー1名の計37名であった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
	・飲食店特産物ガイドブック(マップ付)作成 H23年度:0部→H24年度:55,000部	目標	(0)	(55,000部)	()	()	()
		実績		55,000部			
	・ガイドブック等デジタルコンテンツ化 H23年度:0件→H24年度:2件	目標	(0)	(2件)			
		実績		2件			
・多言語化WEBサイト構築数 H23年度:0サイト→H24年度:4サイト	目標	(0)	(4サイト)	()	()	()	
	実績		4サイト				
進捗状況説明	豊見城市の観光に関する情報発信を強化するため、以下の事業について、豊見城市観光協会に補助し事業を行った。 1)豊見城市飲食店ガイドブック制作、印刷製本 豊見城市内の飲食店に関する店舗情報などをジャンル別に取りまとめたガイドブックを制作。 2)豊見城市観光情報ガイドブック、飲食店ガイドブックのデジタルコンテンツ化 市観光協会のホームページにて公開するために①豊見城市観光情報ガイドブック、②豊見城市飲食店ガイドブックのデジタルコンテンツ化を行い、公開閲覧した。 3)豊見城市の観光情報発信に活用する豊見城市観光協会のホームページの多言語化 市観光協会のホームページに掲載している豊見城市の自然、歴史、文化や暮らし、旅に関する情報を4ヶ国語にて公開。4ヶ国語は、英語・中国語(簡体語・繁体語)・韓国語。						

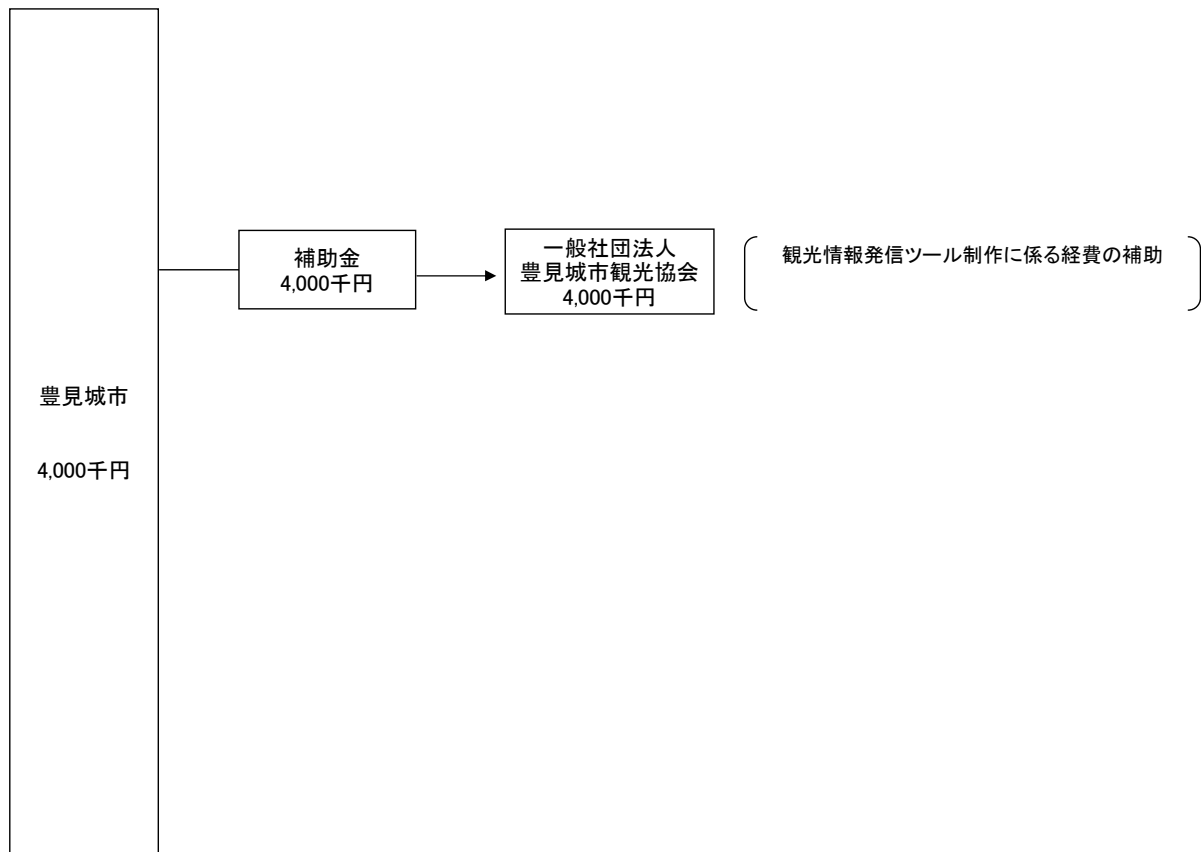
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	市内の観光に関する情報発信については、市内飲食店の移転や改修など、実際とweb上の情報の乖離をなくすため、情報更新等に留意する必要がある。	観光情報コンテンツ化に関する事業内容の情報発信に努め、インターネットを活用した24時間観光情報を配信する新たなPRツールとして市内外の方々へ市内に数多くある観光資源をより有効に活用し、豊見城市の魅力や地域の歴史・文化を広く発信していくことが必要不可欠であると考えます。

今後の取り組み方針

今後の取り組みについて、外国人観光客等に対しての情報発信を目的に行ったホームページの多言語化は、更新がなく放置している状態にしていると、情報が古くなり、アクセス数も落ち込むため、随時更新し、情報の新鮮さを保つことでホームページのアクセスアップを促す。
 また、市内飲食店ガイドブックについては、観光客利用の多いインカーステーションや道の駅、イベント等での配布に加え、来庁者の多い市役所での配布を継続し、更なる有効活用を促す。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
5,000	4,000	3,200	800	1,000



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・観光まちづくりを推進することにより、観光事業の健全な振興を通して魅力あふれる豊見城市の活性化に寄与することを目的として設立した観光協会を選定しており、妥当と考えている。 ・補助金精算額調書、納品書等により支出費目の性格に沿った適正な支出と確認を行った。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-① 那覇空港周辺における航空機騒音測定事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-イ		
担当部署	市民健康部 生活環境課		事業実施（予定）年度	平成24～28年度		陸域・水辺環境の保全	
				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-10-(1)		
事業内容	那覇空港周辺地域は航空機騒音があり、騒音測定を行うことにより実態を把握する必要がある。当該地域の任意の2地点において航空機騒音測定を行い、その結果を基に空港と共生するまちづくり等について検討・議論が促進し、将来の快適な住民環境の形成を目指す。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		0				
			1,680				
			1,680				
			—				
			1,680	0			
	B. 執行済額		1,680				
	うち交付金充当額		1,344				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初予算に計上しなかった為、当初予算額と最終予算額に大きな乖離があるが、計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標（指標） 及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	那覇空港周辺における航空機騒音測定の実施	目標	(3地点×2回)	()	()	()	
		実績	2地点×1回				
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	航空機騒音測定の初年度である平成24年度においては、2地点×1回で周辺地域の騒音実態を把握できるものと判断し、航空機騒音測定を実施した。測定を行うことにより那覇空港周辺の騒音データを得ることができた。						
成果目標（指標） 及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（27年度）
	那覇空港周辺における航空機騒音測定の実施	目標	(0地点×0回)	(3地点×2回)	()	()	()
		実績		2地点×1回			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	航空機騒音測定の初年度である平成24年度においては、2地点×1回で周辺地域の騒音実態を把握できるものと判断し、航空機騒音測定を実施した。測定を行うことにより那覇空港周辺地域の騒音データを得ることができた。測定結果を公表することにより、空港と共生するまちづくり等について検討・議論が促進することを期待する。また引き続き測定を行っていくことで、更に検討・議論が深まるものと考えている。						

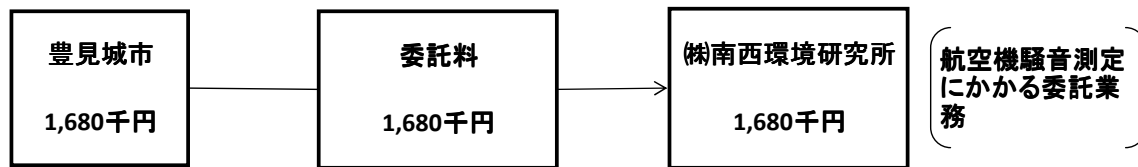
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	航空機騒音の起因となる航空機の離発着経路は、風向きの関係で季節により異なってくる。また、周辺地域の航空機騒音は広範囲に亘るため、地点を増やした騒音測定実施への要望が多い。これらを踏まえて、那覇空港周辺地域の航空機騒音の実態を把握するため、測定地点及び回数が増加が必要となる。	那覇空港周辺地域の航空機騒音実態を把握するため、測定地点及び回数の増加が必要となる。 測定回数の増:1回→2回(夏季・冬季) 測定地点の増:2地点→3地点

今後の取り組み方針

那覇空港周辺地域の航空機騒音測定を3地点×2回(夏・冬)に地点数と回数を増やし引き続き行うことにより、航空機騒音の実態を把握し、測定結果を公表することで空港と共生するまちづくり等について検討・議論が促進し、将来の快適な住民環境の形成を目指す。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,680	1,680	1,344	336	0



資金の流れ、 点検評価 ・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は入札により選定しており、妥当であると考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		豊見城市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	トンネル災害対応資機材整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部署名	消防本部 警防課	事業実施(予定)年度	平成24~28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)	
事業内容	那覇空港から中北部への移動の際に主に利用される那覇空港自動車道、豊見城トンネル(県内最長クラス)内における特殊災害、交通事故等による火災等に迅速かつ確実に対応できるよう消防体制の充実強化を図ることを目的とし、高圧コンプレッサー等の消防資機材の整備を行った。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計(b+d)		3,500				
			3,885				
			385				
			-				
			3,885				
	B. 執行済額		3,885				
	うち交付金充当額		3,108				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	移動式呼吸器用高圧コンプレッサーユニット整備	目標	(1台)	()	()	()	
		実績	1台				
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	これまで消防隊員等が火災現場等で使用した空気呼吸器用ポンベの充填を充填業者が行って来たが、消防本部に移動式コンプレッサーを導入し、空気ポンベの充填を24時間365日随時行えるよう整備を行った。 また業者へ空気呼吸器等充填依頼の際、約1週間程度の納品期間を要していたが、空気呼吸器コンプレッサー整備後は短時間で空気充填が可能になり、那覇空港自動車道トンネル内における特殊災害、交通事故等による火災等に対し迅速な救助活動及び消火活動が可能となる。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
	移動式呼吸器用高圧コンプレッサーユニット整備	目標	(0台)	(1台)	()	()	()
		実績		1台			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	平成24年度末にコンプレッサーを整備、本格運用は平成25年4月より実施。平成25年度、5月現在において85本の充填数がある。空気呼吸器及び潜水用ポンベ等が消防署内で迅速に空気充填が可能になった事により訓練回数も増加、平成25年度においては消防署内において約500本の空気呼吸器等の充填が見込まれる。						

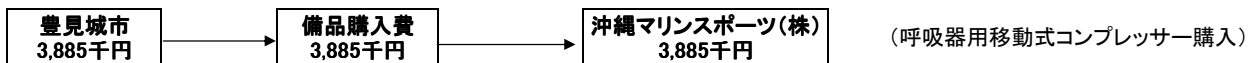
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	空気呼吸器コンプレッサー整備後は消防署内での充填を行うため、常に災害時に備えて使用できる状況を維持・保守管理を行わなければならない。 消防資機材の使用法について周知徹底を行わなければならない。	消防資機材の取り扱いマニュアル及び管理体制の整備を行う必要がある。

今後の取り組み方針

第1、第2、第3警備(署員を3班に割り振りした1勤務24時間体制の3部制)に取り扱い責任者を配置し、定期的な保守点検及び訓練を行い、管理体制の充実を図る。
 また研修等を行うことで機器等の運転取扱い要領を習熟し、安全面の徹底を図ることにより、資機材の円滑な運用を行い、市民の安全と被害の軽減を目指す。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,885	3,885	3,108	777	0



資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法については、取り扱い業者5社による指名競争入札を行い、妥当であったと考えている。 ○費目、使途については支出等に関する書類により確認を行い、適正であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① いきいき野菜生産支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア 亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興		
担当部課名	経済建設部 農林水産課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(6)		
事業内容	市場や量販店の求める定時・定量・定品質な野菜の安定生産を図るため、JA又は生産者団体が設置する耐候性野菜栽培施設(パイプハウス)の設置費の一部を補助を実施した。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	0				
		(b) 予算現額	122,640				
		(c) 増減額 (b-a)	122,640				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	122,640	0			
	B. 執行済額		122,639				
	うち交付金充当額		98,111				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初予算に計上しなかった為、当初予算額と最終予算額に大きな乖離があるが、計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	耐候性野菜栽培施設整備補助 補助対象JA	目標	(32,782.5㎡、 91棟、19農家)	()	()	()	
		実績	32,782.5㎡、 87棟、19農家				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	耐候性野菜栽培施設(パイプハウス)を、32,782.5㎡(87棟、19農家)整備した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (平成23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (平成27年度)
	耐候性野菜栽培施設整備補助 補助対象JA	目標	()	(32,782.5㎡、 91棟、 19農家)	()	()	()
		実績		32,782.5㎡、 87棟、 19農家			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	強風や長雨等の影響を受けない施設の設置により、生産農家の経営安定を図るための施設整備が整った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①露地栽培から施設栽培へ変わることによる、栽培技術等の確立が必要である。 ②事業の目的である安定生産への取り組みを強化する。 ③施設の台風等の自然災害対策を行う。 ④豊見城産野菜の販路拡大、産地化を図る必要がある。	①、②JAや沖縄県南部農業改良普及センター等の関係機関と協力し、施設栽培技術等の検討会を開催する。 ③他の地域の施設の台風等自然災害対策を参考にし、被害防止対策に努める。 ④野菜の定時・定量・定品質による安定生産を図り、新たな販路拡大、産地化に向けて、JA葉野菜産直専門部会を中心に取り組む。
今後の取り組み方針		
今後の取り組み方針として、施設整備後の栽培技術の確立に努め、定時・定量・定品質で、安全・安心な豊見城産野菜の安定生産を図る。新たな販路拡大を図るため、JAやJA葉野菜産直専門部会と協力し、県外を視野に入れた販売戦略に取り組む。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
160,965	122,639	98,111	24,528	38,326



事業実施主体負担分(交付対象外経費)
38,326千円

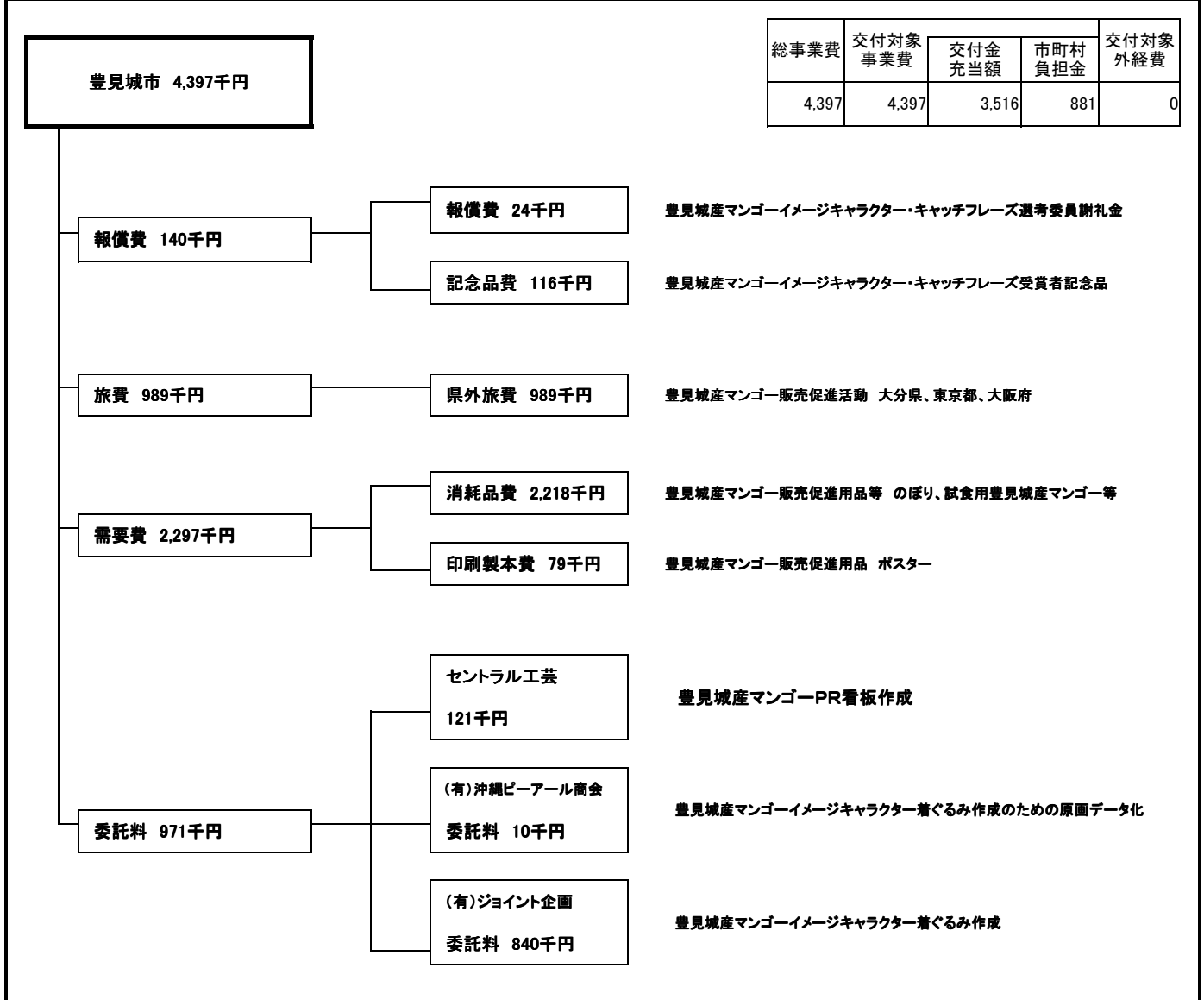
豊見城市いきいき野菜生産支援事業
 (耐候性野菜栽培施設整備事業)
 耐候性野菜栽培施設整備に係る経費の補助
32,782.5㎡ 87棟 19農家

資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	補助金については、事業目的達成のために必要なものであり、事業実施に関する書類及び現地確認した結果、適正であり、豊見城市いきいき野菜生産支援事業費補助金交付要綱及び豊見城市補助金等に関する規則に基づき事業実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	豊見城産マンゴー販売促進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア			
担当部課名	経済建設部 農林水産課	事業実施(予定)年度	平成24~28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興		
事業内容	県の拠点産地に認定されるなど、県内外で評価が高い豊見城産マンゴーの更なる販売促進を図るため、首都圏等において試食アンケート等販売促進事業を実施した。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	0					
	(b) 予算現額	4,399					
	(c) 増減額 (b-a)	4,399					
	(d) 前年度繰越額	-					
	A. 計 (b+d)	4,399	0				
	B. 執行済額	4,397					
	うち交付金充当額	3,516					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	当初予算に計上しなかった為、当初予算額と最終予算額に大きな乖離があるが、計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	首都圏等におけるマンゴー販売促進活動回数6回(県内3回、県外3回)	目標	(6回)	()	()	()	
		実績	6回				
達成状況説明	目標	()	()	()	()		
	実績						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(平成23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(平成27年度)	
	販売促進活動回数6回(県内3回、県外3回)	目標	()	(6回)	()	()	(6回)
		実績		6回			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	販売促進活動の実施により、県内外で広く豊見城産マンゴーのPRができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①販売促進活動の試食アンケートの結果等で寄せられた、消費者や市場からの豊見城産マンゴーに対する様々な声を、今後の販売促進事業推進に役立てるための対策に取り組む必要がある。 ②県外の販売促進活動を、より効果的な店舗等で行う必要がある。 ③豊見城産マンゴーイメージキャラクター「アゴマゴちゃん」の効果的な活用方法の検討を行う必要がある。 ④県内向けの豊見城産マンゴーPRのための効果的な取組みが必要である。	①試食アンケート等で消費者や市場から寄せられた意見にJAやJAマンゴー共選部会と協力し対策に取り組む。 ②県外の効果的な販売促進活動として、試食アンケート等の様々な活動を行える店舗を選定する。 ③豊見城産マンゴーイメージキャラクター「アゴマゴちゃん」をマンゴー関連以外のイベントでも活用していく。 ④県内向けの豊見城産マンゴーの効果的なPRとして、那覇バスの車外及び車内広告を実施し、動く広告塔として県民及び観光客へ広くPRしていく。
今後の取り組み方針		
①アンケートで寄せられた様々な意見を、JAやJAマンゴー共選部会と協力し、今後の販売促進事業の推進に役立てる。 ②県外の効果的な販売促進活動を実施するために、店頭で試食アンケート等の様々な活動を行える店舗の協力を求める。 ③関係機関と協力し、様々なイベントで「アゴマゴちゃん」を活用していく。 ④那覇バスへの車外及び車内広告の実施に向けて取り組む。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	報償費、旅費、需要費については、事業目的達成のために必要なものであり、支出等に関する書類により確認した結果適正であった。委託事業者は、豊見城市契約規則に基づき選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	預かり保育事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-2-(2)-イ			
担当部署名	学校教育課	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所		
					子育てセーフティネットの充実 Ⅲ-4		
事業内容	豊見城市立幼稚園全7園に、預かり保育担当教諭を配置し、ひとり親世帯や共働き世帯の園児を午後、幼稚園で預かることで、子育て支援を行った。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	18,640				
		(b) 予算現額	20,284				
		(c) 増減額(b-a)	1,644				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計(b+d)	20,284	0			
	B. 執行済額		19,042				
	うち交付金充当額		5,609				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		93.9%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	預かり保育担当教諭配置人数	目標	(21名)	()	()	()	
		実績	21名				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	ひとり親世帯や共働き世帯等で、午後の保育に欠ける世帯からの申請405件を受け入れる為、各幼稚園に合計21名の預かり保育担当教諭を配置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
	預かり保育を実施した園児数	目標	(323名)	(400名)	()	()	(100%)
		実績		405名			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	ひとり親世帯や共働き世帯等で、午後の保育に欠ける世帯からの申請405件を受け入れ、預かり保育要望世帯に対する保育実施率を100%達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	保護者の就労形態の多様化や大型マンションの建設など社会環境の変化とともに核家族の進行や共働き世帯の増加で、近隣の人間関係も希薄になり、気軽に子供を預けられるところがない等の理由から今後も預かり保育を必要とする園児は増加するものと思われる。	今後申請数の増加に応じ、教員の確保・増員を図る必要があると同時に充実した保育内容の向上を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
引き続き、申請のある全園児の受け入れができるような人員配置に併せ、幼稚園免許保持者を採用していく。また、幼稚園教育の充実のため担当教諭の資質向上を目的とした研修を4月に開催する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	19,042	7,012	5,609	1,403	12,030
<pre> graph LR A[豊見城市 19,042千円] --> B[共済費] A --> C[賃金] B --> D[那覇年金事務所 2,356千円] B --> E[預かり保育料充当分 (交付対象外経費) 1,488千円] C --> F[臨時職員 16,686千円] C --> G[預かり保育料充当分 (交付対象外経費) 10,542千円] </pre>					

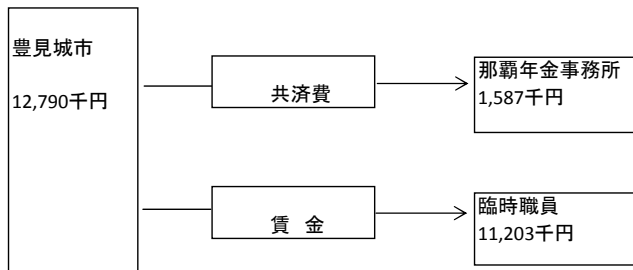
資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○預かり保育担当教諭の採用については、面接を行い採用しているので、妥当だと考えている。 ○費目・用途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-① 学力向上サポート事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-5-(3)-ア		
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	児童生徒の学力向上のために児童生徒一人一人にきめ細かな自立支援、学習支援を行うため、豊見城市立全小中学校に学習指導支援者を配置し、授業にあたる教師と連携しながら教育環境の充実を図った。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,380				
		(b) 予算現額	13,305				
		(c) 増減額 (b-a)	7,925				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	13,305	0			
	B. 執行済額		12,790				
	うち交付金充当額		10,231				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		96.1%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。 ※本事業は、実績額の修正報告を行っており、記載額は修正報告後の額となっている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	学力向上対策補助員配置人数 小学校8名、中学校3名	目標	(11名)	()	()	()	
		実績	11名				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	児童生徒の学力向上のために、豊見城市立全小中学校に学習指導支援者を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら、児童生徒に対し一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行うことで教育環境の充実を図れた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
	学力向上対策補助員配置人数 小学校8名、中学校3名	目標	(6名)	(11名)	()	()	(11名)
		実績		11名			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	児童生徒の学力向上のために、豊見城市立全小中学校に学力向上対策補助員を配置し、授業にあたる教師と連携を図りながら、児童生徒の支援を行うことで教育環境の充実を図れた。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>本事業では、学力向上対策補助員を各学校へ配置し、教育環境の充実を図っているが、補助員の中には、教員免許保持者ではあるが教員としての経験が少ない者もいるため、対応策を考える必要がある。</p> <p>また沖縄県学力到達度調査においては、改善が図られた教科もあるが、そうでない教科もあった。今回の成果を受けて改善が図られなかった教科について課題が残る。</p>	<p>引き続き教員免許保有者を採用し、さらには教員としての経験が少ない者に対する校内研修等の実施が必要である。</p> <p>今回改善できなかった教科の検証しながら、継続して学力向上対策補助員の配置を行っていく。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>学力向上推進補助員について、免許保持者、経験者を優先的に採用を行い、教育の充実を図る。また、補助員のスキルアップのために定期的に校内研修や校外研修を積極的に行い、児童生徒の学力向上を図る。全教科において改善が図られるよう研究及び実践指導を重ねていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,790	12,790	10,231	2,559	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○学力向上対策補助員の採用については、面接を行い採用しているのが、妥当だと考えている。</p> <p>○費目・使途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-②	キャリア教育コーディネーター配置事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-5-(3)-ア			
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	キャリア教育コーディネーターを活用し、職場体験・インターンシップ受入れ先の開拓・マッチング等の支援を行うことにより、キャリア教育の推進に取り組んだ。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	0					
	(b) 予算現額	867					
	(c) 増減額(b-a)	867					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計(b+d)	867	0				
	B. 執行済額	841					
	うち交付金充当額	671					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	97.0%					
予算の状況の説明	当初予算に計上しなかった為、当初予算額と最終予算額に大きな乖離があるが、計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 ※本事業は、実績額の修正報告を行っており、記載額は修正報告後の額となっている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	キャリア教育コーディネーター配置人数	目標	(1名)	()	()	()	
		実績	1名				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	キャリア教育コーディネーターを配置することで、小学校の職場見学、中学校の職場体験を受け入れる事業所を開拓することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)	
	キャリア教育受入れ事業所バンク登録件数	目標	(159件)	(250件)	()	()	()
		実績		263件			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	キャリア教育コーディネーターが512件の事業所を訪問し、104件の新規登録を行うことができた。						

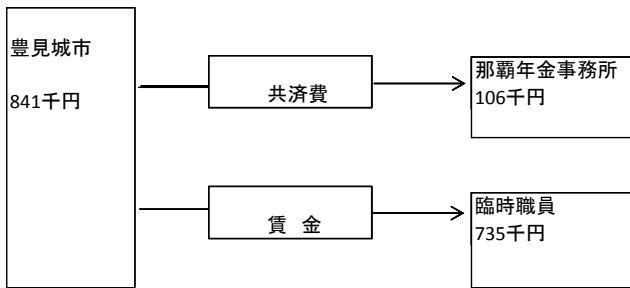
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当事者の活用で合計263件のキャリア教育受入事業所を登録することができたが、今後は登録事業所の更新、活用の充実が求められる。	当事業は24年度で一定の成果があり終了となるが、今後は学校と教育委員会が主体となり、計画的なキャリア教育受入事業所の活用や登録の更新を行う必要がある。

今後の取り組み方針

キャリア教育に関する資料や情報を家庭や地域に積極的に発信し、キャリア教育に関する協力や理解を広げていくと同時に、登録事業所の増加と更新を行う。児童生徒の発達の段階に応じたキャリア教育の実践のため、指導計画の作成を行い、積極的に活用していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
841	841	671	170	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○キャリア教育コーディネーターの採用については、面接を行い採用しているので、妥当だと考えている。 ○費目・使途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-③	情報教育補助員派遣事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-5-(3)-ア			
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	情報教育補助員を各小中学校へ巡回派遣し、PC教室で授業を行う教員の支援や児童生徒へ直接支援することで、教員や子どもたちの情報リテラシーの向上を図った。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	982					
	(b) 予算現額	1,928					
	(c) 増減額(b-a)	946					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計(b+d)	1,928	0				
	B. 執行済額	1,892					
	うち交付金充当額	1,512					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	98.1%					
予算の状況の説明	計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。 ※本事業は、実績額の修正報告を行っており、記載額は修正報告後の額となっている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
	情報教育補助員の配置人数	目標	(2名)	()	()	()	
		実績	2名				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	情報教育補助員を各小中学校へ巡回派遣し、PC教室で授業を行う教員の支援や児童生徒へ直接支援することで、教員や子どもたちの情報リテラシーの向上が図れた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)	
	情報教育補助員の配置人数	目標	(1名)	(2名)	()	()	(3名)
		実績		2名			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	情報教育補助員を各小中学校へ巡回派遣し、PC教室で授業を行う教員の支援や児童生徒へ直接支援することで、教員や子どもたちへの情報リテラシーの向上が図られ、政府統計によるH24年度教員のICT活用指導力の状況調査によると本市は70%近くが「できる」と回答している。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	H24年度は、実際に授業に入り教員や児童生徒への支援を行い、情報リテラシーの向上が図れたと考えているが、支援される側(児童生徒)の状況を具体的に把握できなかった。	児童生徒にアンケートを行い、情報リテラシーの効率的な向上を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
引き続き情報教育補助員を派遣し、H25年度からは定期的にアンケートを実施し、教員、児童生徒の状況を具体的に把握し、より効率的な支援を図る。また、電子黒板導入の実施後にはパソコン教室だけでなく、普通教室において電子黒板の効率的な活用についても支援していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	1,892	1,892	1,512	380	0
<pre> graph LR A[豊見城市 1,892千円] -- 共済費 --> B[那覇年金事務所 230千円] A -- 賃金 --> C[臨時職員 1,662千円] </pre>					

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○情報教育補助員の採用については、面接を行い採用しているため、妥当だと考えている。 ○費目・使途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。	

市町村名	豊見城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-④	適応指導教室学習支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-5-(3)-ア		
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	適応指導教室に支援員を配置し、心因的不登校児童生徒の個々の状況に応じた体験活動や学習指導、教育相談等の支援を行い、人間関係の改善と児童生徒の自立心を高め、社会性を身につけさせることで、学校生活への適応を図り、引きこもり解消や学校復帰を支援した。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	2,466					
	(b) 予算現額	2,421					
	(c) 増減額(b-a)	▲ 45					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計(b+d)	2,421	0				
	B. 執行済額	2,367					
	うち交付金充当額	1,893					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	97.8%					
予算の状況の説明	計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
	適応指導教室学習支援員配置人数	目標	(2名)	()	()	()	
		実績	2名				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	市適応指導教室に学習支援員2名を配置したことにより、不登校児童生徒を小中学生別にきめ細かく指導・支援することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)	
	適応指導教室学習支援員配置人数	目標	(1名)	(2名)	()	()	(2名)
		実績		2名			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	市適応指導教室に学習支援員2名を配置したことにより、小中学生別にきめ細かく指導・支援ができ、児童生徒が意欲的に学習するようになった。その結果、受験生の全員が高等学校に合格できるなどの成果があった。また、児童生徒個々の状況に応じた支援ができ、適応指導教室在籍の児童生徒数10名中3名が学校に完全復帰することができた。					

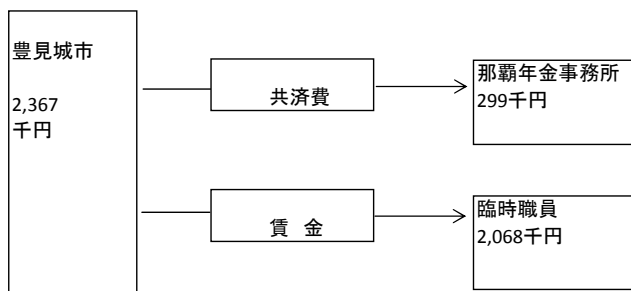
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	不登校児童生徒の支援を行うことで、学校復帰した生徒が3名であり、昨年度に比べ学校復帰した児童生徒数は増加したが、学校復帰に至らなかった児童生徒もいる。	引き続き学習支援員2名を配置し、関係機関との連携をこまめに取りながら不登校児童生徒の状況、学校の対応等を把握し、学校復帰に至らなかった原因を検証する必要がある。

今後の取り組み方針

- ・児童生徒一人一人のペースを見ながら、継続的かつ計画的に支援の充実を図る。
 - ・学校復帰に向けて、学習意欲や学力に応じた個別指導を行う。
 - ・体験活動、遊び、スポーツなどを通して、協調性や集団への適応力を養う。
 - ・教育相談を常に行い悩みや不安を解消する。
 - ・保護者・学校との連携を図り、復帰への方向性を確認する。
- 少しでも多くの子学校復帰ができるよう目指すと共に、問題を抱える子どもたちの早期発見、早期対応に努めることとする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,367	2,367	1,893	474	0



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○適応指導教室学習支援員の採用については、面接を行い採用しているため、妥当だと考えている。 ○費目・使途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-⑥ 小学校空調設備設置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3章-5-(3)-ウ		
担当部課名	学校教育部 学校施設課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代の対応する魅力ある学校作りの推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	亜熱帯気候である沖縄は、年間を通して高温多湿な状況が長期間続くことから、児童・生徒の学習環境を改善し学習に集中できる環境を整備するため、小学校に空調設備を設置した。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	0					
	(b) 予算現額	1,914					
	(c) 増減額 (b-a)	1,914					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	1,914	0				
	B. 執行済額	1,817					
	うち交付金充当額	1,453					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	94.9%					
予算の状況	予算の状況の説明 当初予算に計上しなかった為、当初予算額と最終予算額に大きな乖離があるが、計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	空調設備設置校数(小学校)	目標	(2校)	()	()	()	
		実績	2校				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	平成24年度伊良波小学校・とよみ小学校の特別教室数に対する空調設備設置教室数の割合の活動目標は、100%であり、年度内に目標であったすべての空調設備設置工事が完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
	空調設備設置校数(小学校)	目標	(0校)	(2校)	()	()	(5校)
		実績		2校			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	平成24年度小学校空調設備設置校数の成果目標は、伊良波小学校、とよみ小学校の2校である。年度内に小学校2校の空調設備設置工事が完了した。						

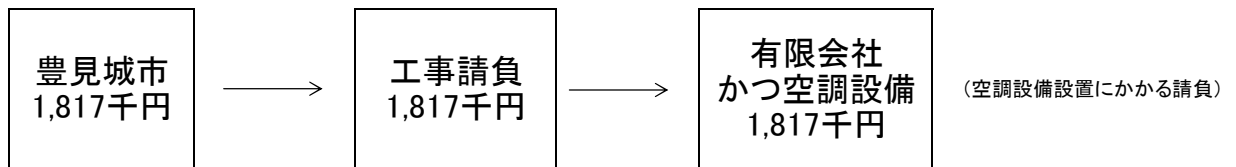
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	熱帯気候である沖縄は、年間を通して高温多湿な状況が長期間続くことから、児童・生徒の学習環境をより効率的に改善する必要がある。	<p>今後は空調設備の使用頻度が多く見込まれる夏季に間に合うように早期の段階で工事完了する。</p> <p>また引き続き空調が未整備または老朽化している学校施設への対応の検討が必要である。</p>

今後の取り組み方針

推進上の留意点及び改善余地の検証の結果から、平成25年度小学校空調設備設置工事は、交付決定後、早期に工事発注を行っていきたい。また未整備校及び空調の老朽化が進んでる学校施設についても十分な調査の上整備を行っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
1,817	1,817	1,453	364	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>請負業者は、企業組織、実績、知識等を勘定した上で指名入札業者を選定し、入札を行っているため妥当であると考えている。また、予算規模については工事請負設計書を作成しているため、妥当であると考えている。</p> <p>費目・用途については、書類や現場の確認等により、空調設備に必要なもので適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-⑦ 中学校空調設備設置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3章-5-(3)-ウ		
担当部課名	学校教育部 学校施設課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代の対応する魅力ある学校作りの推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	亜熱帯気候である沖縄は、年間を通して高温多湿な状況が長期間続くことから、児童・生徒の学習環境を改善し学習に集中できる環境を整備するため、中学校に空調設備を設置した。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	0				
		(b) 予算現額	2,730				
		(c) 増減額 (b-a)	2,730				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	2,730	0			
	B. 執行済額		2,510				
	うち交付金充当額		2,007				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		91.9%				
予算の状況の説明		当初予算に計上しなかった為、当初予算額と最終予算額に大きな乖離があるが、計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	空調設備設置校数(中学校)	目標	(1校)	()	()	()	
		実績	1校				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	平成24年度伊良波中学校の特別教室数に対する空調設備設置教室数の割合の活動目標は、41.7%であり、年度内にすべての空調設備設置工事が完了した。(12教室中5教室設置済み)						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
	空調設備設置校数(中学校)	目標	(0校)	(1校)	()	()	(3校)
		実績		1校			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	平成24年度中学校空調設備設置校数の成果目標は、伊良波中学校の1校である。年度内に中学校1校の空調設備設置工事が完了した。						

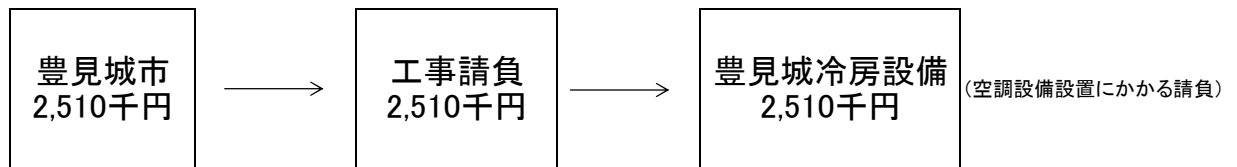
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	熱帯気候である沖縄は、年間を通して高温多湿な状況が長期間続くことから、児童・生徒の学習環境をより効率的に改善する必要がある。	<p>今後は空調設備の使用頻度が多く見込まれる夏季に間に合うように早期の段階で工事完了する必要がある。</p> <p>また引き続き空調が未整備または老朽化している学校施設への対応の検討が必要である。</p>

今後の取り組み方針

推進上の留意点及び改善余地の検証の結果から、平成25年度中学校空調設備設置工事は、交付決定後、早期に工事発注を行っていきたい。また未整備校及び空調の老朽化が進んでる学校施設についても十分な調査の上整備を行っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,510	2,510	2,007	503	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>請負業者は、企業組織、実績、知識等を勘定した上で指名入札業者を選定し、入札を行っているため妥当であると考えている。また、予算規模については工事請負設計書を作成しているため、妥当であると考えている。</p> <p>費目・用途については、書類や現場の確認等により、空調設備に必要なもので適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

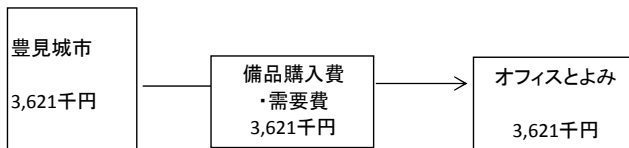
市町村名	豊見城市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-⑧	沿岸地区学校安全整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-5-(3)-ウ			
担当部課名	学校教育課	学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～28年度	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進		
				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)		
事業内容	ライフジャケットを購入し、沿岸地区にある幼稚園・小学校へ津波等震災に備える。実際、ライフジャケットを着用した訓練を行い、災害時における教育の安全性の充実を図った。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	0					
	(b) 予算現額	5,031					
	(c) 増減額(b-a)	5,031					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計(b+d)	5,031	0				
	B. 執行済額	3,621					
	うち交付金充当額	2,896					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	72.0%					
予算の状況の説明	当初予算に計上しなかった為、当初予算額と最終予算額に大きな乖離があるが、計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 また、当初は、避難はしごを購入する予定であったが、津波等の災害時には救助ロープの方が効果的だと判断し、救助ロープ購入に変更したため、執行残が出た。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況					
		24年度	25年度	26年度	27年度		
	ライフジャケット整備数	目標	(幼稚園分130着 小学校分680着)	()	()	()	
		実績	幼稚園分136着 小学校分679着				
	目標	()	()	()	()		
実績							
達成状況説明	児童生徒の予想人数(平成25年4月基準)を押さえ整備した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)	
	沿岸地区の幼稚園・小学校におけるライフジャケット整備率	目標	(0%)	(100%)	()	()	(100%)
		実績		100%			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
	実績						
進捗状況説明	児童生徒の予想人数分を整備することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	園児・児童数が増えている校区であり、ライフジャケットの不足が見込まれる。 園児及び低学年に関しては使用方法等について理解ができていない。	今後も人数の動向を把握し、不足分について整備する必要がある。 使用方法の理解を図る為、各学年及び学級等での指導が必要である。

今後の取り組み方針
<p>今後は人数の動向を把握し、随時増加分の補充を行っていく。また使用方法については、学年、学級単位で学んだうえで避難訓練を行い、実際に着衣まで行う。またプール学習を活用し、実際プールでライフジャケットを活用し体験するなどして実践学習を行い、安全教育の確保を図る。</p>

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
3,621	3,621	2,896	725	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○購入業者は、入札により決定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○ライフジャケット購入数は、見込み人数であり必要な個数に限定されていると考えている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	豊見城市
------	------

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	⑥-1 伝統文化等継承拠点整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ウ
担当部課名	生涯学習部 生涯学習振興課	事業実施(予定)年度	平成24~28年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	文化のまちづくり推進事業
			Ⅲ-3-(2)

事業内容
 伝統文化の継承及び発展を目的にエイサー祭り等に取り組む団体の活動の拠点となる施設を整備し、活動を活性化させ、更なる人材育成及び伝統文化継承を図るとともに新たな観光資源としての活用を目指す。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	0				
	(b) 予算現額	5,498				
	(c) 増減額 (b-a)	5,498				
	(d) 前年度繰越額	-				
	A. 計 (b+d)	5,498				
	B. 執行済額	5,498				
	うち交付金充当額	4,398				
	次年度繰越額	0				
	執行率(%) (B/A)	100.0%				
	予算の状況の説明	当初予算に計上しなかった為、当初予算額と最終予算額に大きな乖離があるが、計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
		拠点施設(交流広場)の整備	目標 (470㎡)	()	()
	実績	470㎡			
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	伝統文化等継承拠点施設(交流広場)において人工芝の張替工事を完了した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(27年度)
		目標	()	(470㎡)	()	()
	実績		470㎡			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()
	実績					
進捗状況説明	エイサー等に取り組む団体の活動拠点として活用し、伝統文化の継承・発展につなげていく。					

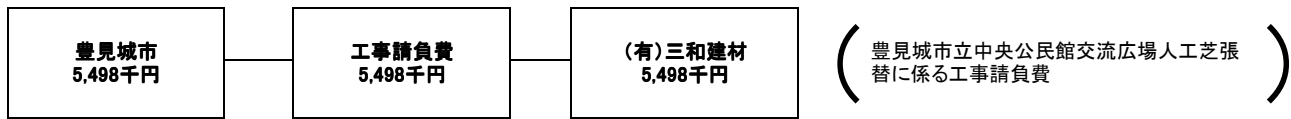
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 人工芝の張替工事にあたっての問題は無し。 ただし、平成24年度中においては、人工芝の張替終了が年度末であり、交流広場の年度中での供用開始とはならなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度中は実績を上げることができなかった。早い時期に工事を発注できれば年度中でも実績を上げることができたのではないと思われる。

今後の取り組み方針

伝統文化継承拠点となる中央公民館交流広場が供用開始により使用しやすくなったことのPRを積極的に行い、大ホールや中ホールと併せて大規模なイベントの実施の際に積極的に利用してもらうことの周知活動を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,498	5,498	4,398	1,100	0



資金の流 れの流 れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は指名競争入札により公平、公正に選定しており、選定方法、予算規模は妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	費目、用途については事業目的達成の観点から必要なもの等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

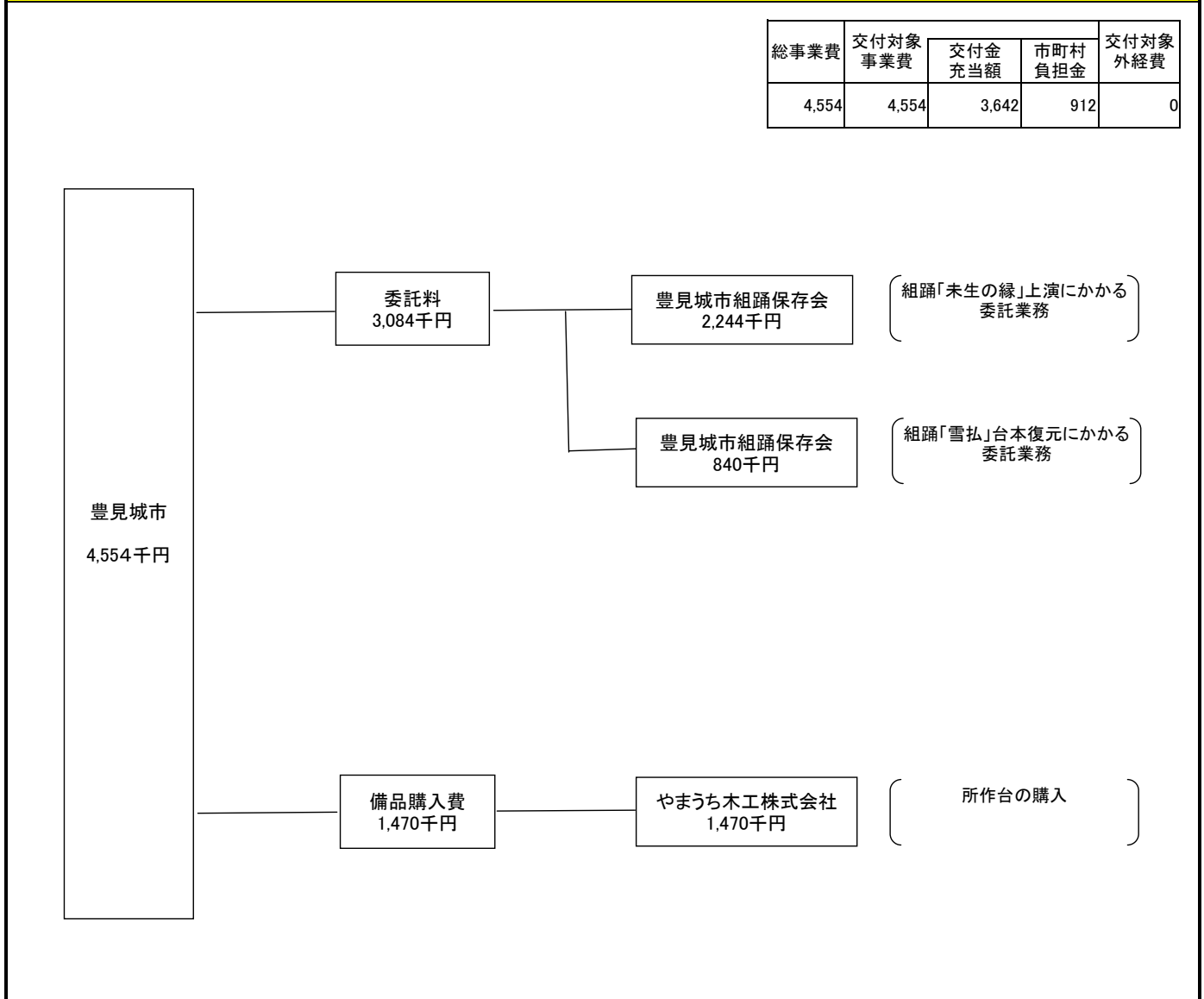
市町村名		豊見城市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-③ 組踊継承事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(4)-エ		
	担当部課名	生涯学習部 文化課		事業実施（予定）年度 平成24～28年度		文化の発信・交流	
		沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-3-(2)			
事業内容		組踊継承者育成のため豊見城市にゆかりのある、組踊「未生の縁」を上演した他、組踊「雪払い」の台本復元を専門的見地から行い、伝統文化の継承及び新たな地域資源としての活用を目指す。また、それらを目指すにあたり、組踊等を行う際に舞台上で使用する所作台を購入した。					
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）					
予算額・執行額【執行額】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		(a) 当初予算額	0				
	(b) 予算現額	5,609					
	(c) 増減額 (b-a)	5,609					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	5,609	0				
	B. 執行済額	4,554					
	うち交付金充当額	3,642					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	81.2%					
予算の状況の説明		当初予算に計上しなかった為、当初予算額と最終予算額に大きな乖離があるが、計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。また、不要額が1,056千円発生しているが、主として組踊「雪払い」台本復元の委託料の840千円である。台本復元の不用額に関しては、実際の上演をとおして決定する内容があり、それらに係る費用を除いたことにより発生したものである。しかし、当初計画していた別の事業内容は、ほぼすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	組踊り「未生の縁」上演	目標	（ 上演 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	上演				
	組踊「雪払い」台本復元	目標	（ 台本復元 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	台本復元				
達成状況説明	組踊「未生の縁」出演者（体験者）数の拡大を目指して、同組踊の上演を行った。今回の上演において、立方、地謡含めて28名が出演した。また、上演当日においては公民館収容人数満席の約800名が観覧に訪れたほか、上演後においては報道等にも取り上げられ、ある一定の成果をみた。 本市ゆかりの組踊「雪払い」台本復元においては、検討委員会などを経て欠落箇所台本の復元に取り組んだ。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（27年度）
	組踊継承者養成数（組踊「未生の縁」出演者延数）	目標	（ 216 ）	（ 28 ）	（ ）	（ ）	（ 272 ）
		実績		244			
	【参考指標】	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績					
	進捗状況説明	組踊「未生の縁」出演者（体験者）数の拡大を目指して、同組踊の上演を行った。今回の上演において、立方、地謡含めて28名が出演し、出演者延数としては244人を達成できたことにより本市ゆかりの組踊継承に一定の成果をみた。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>①継続的な「組踊」への関わりを深めていくことへの取組み。 今回、出演者(体験者)は、組踊伝承者等から貴重な演技指導や伝授を経て、上演を達成した。貴重な体験と習得した技術を通じ、今後も継続的に体験者としての実績を生かし、保存継承に関わっていくことが期待される。</p> <p>②若年層をはじめとする市民への周知を推進する。</p>	<p>①組踊など伝統文化芸能への継続的な関わりを深めていくためにも、今回の出演者(体験者)をはじめとする上演経験者等のネットワークの形成、連携強化が必要であることから、組踊保存会など育成環境に対し、行政の可能な範囲での支援整備と緊密な連携を図る必要がある。</p> <p>②組踊をはじめとする伝統文化・芸能に多くの市民が関心を深めてもらうため、日頃からこうした本市ゆかりの組踊の内容等について周知・広報を行う必要がある。とくに新たな人材の確保につなげるよう、若年層が関心を寄せるとような周知広報を、広範な媒体を利用し行う必要がある。</p>

今後の取り組み方針

今回の上演等の実績を踏まえ、反省点・問題点を確認し、上演経験者等の継続的な関わり方の具体的な方策、並びに組踊全体の継承発展について、検討を行う。関心を深めて頂くための周知広報については、上演機会等のみにとらわれずあらゆる機会を捉え、若年層に向けインターネットや広報紙などを利用し、組踊の魅力の紹介に努め、関連する講演会や講座等の開催を検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○組踊「未生の縁」「雪払」の委託者は、これまで市内における組踊の上演等にかかわっており、実績、専門的知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○備品購入にあたっては、入札を行い適切に執行している。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	